

日本共産党 目黒区議会議員

こんにちは

いも かわ

芋川 ゆうき

区政報告

住所：目黒区南3丁目在住 TEL：090-4206-2048

お問い合わせ ☒ <imokawa007@gmail.com>

109号



芋川ゆうきブログ

碑文谷地域で二人が亡くなる、熱中症が原因か。

NHKウェブニュース報道がされました。

区とつながることはできなかったのか。

地域や区とゆるくつながることができる方法を。

## NHKウェブニュースでの報道

8月13日のNHK首都圏WEBニュースで「住宅で親子とみられる2人死亡 熱中症の疑いも」という内容が出されました。記事を要約すると『13日午前11時半ごろ、目黒区碑文谷に住む親子の親戚から「連絡が取れない」という相談を受けた警察が駆けつけたところ、70代の母親と40代の息子とみられる2人がリビングで倒れており、死亡が確認されました。室内では扇風機が動いていましたが、エアコンは使用されておらず、警視庁は熱中症の疑いがあるとみて調べています。』というものです。

私が初めにニュース記事を見て思ったことが、部屋にエアコンはあったのか、金銭的な理由で使用ができなかったのではないか。ということです。万が一、生活困窮でエアコンが使えなかったとすると、やはり政治の責任になってくると思います。

## 区に状況を確認

区が把握している状況を私が確認すると。警察から区へは情報提供はなかったということでした。

区が調べたところ、エアコンは設置してあったということです。なぜ使用しなかったか、という

ことを考えると、心配なのは、金銭的な理由で使えなかったのではないかということです。生活の相談の対応履歴などあったのかを、あらためて区に確認すると、以前にも親戚からの問い合わせをうけて、区が本人に会いに行ったことがあるということがわかりました。そのうえで、本人たちの意向もあり、生活相談はなかったとのことでした。

本人たちは地域との関係は希薄ではあったが、回覧板などはあり、周囲の人たちも見守っていたということでした。

(※場所などは非公開とのことです)

## 本質的な問題の解決を

今回のケースにおいて、実態を調査していくことは難しそうです。しかし、私が思っていることは安心して助けを受けることができる区にしたいということです。区民からの相談は、生活相談が一番多いです。相談者の中には、生活保護を申請することに、申し訳ないという精神的な抵抗を持つ方もいらっしゃいます。また、地域からの孤立という別の問題も浮かび上がっており、本人の意向が最も尊重されるべきですが、ひとりぐらし登録や、地域や区とゆるくつながれる方法を模索していきたいです。

# 自由が丘、再開発・地権者からも悲痛な声 地域住民と企業との大きな溝



現在、自由が丘では大きく3つの地区の計画が動いています。

(左図、東地区資料から引用)

- ・1-29地区…2023年3月着工。
- ・駅前地区…2022年7月市街地再開発準備組合を設立。検討中。
- ・東地区…2024年4月準備組合が区へ

街づくり提案書を提出。

- ・また、1-29地区と駅前地区の間が都市計画道路補助127号線（バス通り）であり、補助46号線からロータリーまでの一部拡幅が計画されています。

## 自由が丘の街並みが大きく変えられようとしている

1-29地区においては、現在新築工事の段階に入っています。災害時の耐震、耐火性なども考えたものですが、地上60m。地下3階、地上14階の店舗、事務所、住宅等。でした。この地区計画においては、災害時の対応や、地域住民の声も聞き、日本共産党目黒区議団としても賛成をしています。

一方、東地区で6月に示されたものは、地下3階、地上25階、地上95mです。これから原案が区から提出されていきますが、これでは企業に、自由が丘の街並みが大きく変えられてしまいます。儲けを第一に考えた街づくりで果たして良いのか。

### 企業は都合の良い話をしているが・・・

ある地権者の区民は、「企業は、はじめは地権者にも賛同しやすい話をしていたが、実際に動き出すと、雲行きが怪しくなってきた」と言います。今後も注視していきます。

## なんでも相談お越しく下さい

住所：洗足1-12-16 山田荘102号（右地図）

9月 3・17・24(火)午後7時～ ※予約不要です。

※無料法律相談は対面相談のみ

9月10日(火)午後7時～ ※要予約です。

※区議団の弁護士無料法律相談 ※要予約

9月26日(木) 午後2時～

目黒区総合庁舎5階 日本共産党控室 予約は芋川まで

